

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年3月12日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666

介護制度の改善求め、厚生労働省、国会議員へ要請！

3. 7医労連中央行動に、北海道の代表も参加



事例集と要請書を手渡し中病支部・中川友子さん
(左) = 2012年3月7日衆議院会館

3月7日、医労連中央行動では厚労省交渉と国会議員要請に取り組みました。厚労省交渉では団体署名33枚、要請ハガキ88通、介護署名1572筆と67の事例集を提出しました。

議員要請は、厚生労働委員役員を中心に「ヘルパー削減やめて！」事例集と要請書を手渡し現場の実態を伝えました。中病支部・中川さんは「介護職は給与が低く離職率が高い。専門学校で友人の半数は転職している」、つきさむ在宅支部・山本さんは「デイサービスやヘルパーの介護報酬が削減されている。現場や利用者さんの声を聞いてほしい」、在宅支部・梶本さんは「必要なサービスを削減しないで下さい」と訴えました。

厚労省交渉で、勤医労・佐賀さんは67事例を示し、「ヘルパーは家事代行ではない。あたり前の生活が保障できなくなる削減を撤回して下さい」と訴えました。事例を熱心に読んだ担当官から「45分の改定で良かったという声はあったか」と質問され「一切ありません」と答えました(介護職員の医療行為解禁については、事故対策として「介護職員も保険会社と相談して保険商品を考えている」など発言。安全が保障できないため実施を取りやめ、看護職員を増やす方向で解決を図ることを要請しました)。交渉は医労連が「財源論ありきでなく、必要な介護をどう保障するのか、財務相とたたかうのが厚労省ではないのか」と強調して終わりました。(「勤医労FAXNEWS」などから)

介護保険料や後期高齢者医療保険料の住民説明会の開催要請と参加を

札幌市では介護保険料説明会開かれる、札幌社保協は後期医療で開催要望

各市町村議会で、来年度からの介護保険料が審議されています。札幌市は、「10%以上の値上げを提案している」と、3月11日(日)午前と午後、介護保険料説明会を行いました(道内の主な市の保険料は右表・配付資料より)。質疑では、年収が半額になった方から保険料の減免制度への質問なども出されました。議会で決まると、6月中に保険料納入通知を送付し、8月の年金から新保険料を天引き、普通徴収の場合は第1期(納期7月2日)から値上げされます。

介護保険	現保険料	2014-2017保険料(増額・率)
札幌市	4130円	4,656円(+526円・11.3%↑)
旭川市	4650円	5,679円(+1029円・22.2%↑)
函館市	3950円	5,020円(+1070円・27.1%↑)
釧路市	3728円	4,437円(+709円・19.0%↑)
苫小牧市	3941円	4,864円(+923円・23.4%↑)
帯広市	4190円	4,890円(+700円・16.7%↑)
小樽市	4387円	5,460円(+1073円・24.4%↑)

札幌社保協は、3月9日、後期高齢者医療保険料の説明会開催について、市と広域連合に申し入れました。後期高齢者医療の説明会は自治体から要請があると行われます(日程が決まっているのは26市町村です) 各市町村でも説明会を開催させ、住民の意見を届けましょう。

3.3 「ストップ消費税増税！増やせ社会保障！」集会から

「一言アピール」を紹介します。今回は勤医協在宅の松下さんの発言です。

事実上マイナス改定 ヘルパー時間の短縮やめろ 介護制度の改善を 松下さん



社会保障拡充のための一体改革と言っていますが、4月から変わる介護報酬は拡充ではありません。1.2%の引き上げと言っていますが事実上マイナス改定です。国が全額国費で介護職員処遇交付金をもうけ、約1万円の給与がありましたが、これを廃止しました。これが介護報酬2%に相当しますので0.8%マイナスになります。

ヘルパーさんの時間も削減されます。介護時間1時間が45分に短縮されます。6畳の部屋なら10分で掃除、洗濯は15分でできると行動のみで計算しています。現場は機械的な対応で終わる仕事ではありません。介護の分野ではその人らしい生活をめざしています。利用者さんとの会話の中で「いつもと様子が違う」と気づくこともあります。先日は脳梗塞の疑いの症状を見つけ、連絡をして事なきを得たこともありました。機械的な対応ではいけません。社会保障の改善のために、介護制度もよくしてほしいと思います。

